
十七話「天才と凡人」

桜芽 鈴斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

十七話「天才と凡人」

【Nコード】

N8254R

【作者名】

桜芽 鈴斗

【あらすじ】

これは、「昨日と、今日と、これから。」の十七話の話です。

十七話「天才と凡人」前編（前書き）

十七話前編。十七頁「天才と凡人」の凡人（努力の天才）側の話。

十七話「天才と凡人」前編

キーンコーンカーンコーン…

私の名前は、佐伯。そして時は昼休み。私は・・・

「よっしゃー！五教科合計426点ッ、これで勝てる。」

とても浮かれていた。

「なあ夜四季。テストどうだったのよ。ま、今回こそは私の勝ちだと思っけどな。」

「まあまあが出来、だったと思うよ。」

こいつは、夜四季。私の幼なじみ。んでもって、天才。

「お前のまあまあは、全教科大体90点位だろう。また負けか。」

「合計487点。そう言う佐伯は、前回のテストに比べたら、点上がってんじゃない。」

「せつかく、ひと月前から勉強したのに。あんたは、化け物か！」

「いい加減諦めたら。テストも後一回しか無いしさ。」

「諦めるもんか。まだ最後のチャンスが残ってる。次こそは勝つ、そして勝ち逃げしてやる。」

「そう簡単には勝たせないよ。」

「臨むところだ。」

そう。次こそは、この天才を追い抜いてみせる。追い抜いて、認めさせるんだ。

凡人でも、努力次第で天才に勝てるって事を。

十七話「天才と凡人」前編（後書き）

前後編で終わりにする予定です。

誤字・脱字等ありましたら、感想に書いてくれると有り難いです。

十七話「天才と凡人」後編（前書き）

十七話後編。十七頁「天才と凡人」の天才（天性的天才）側の話。

十七話「天才と凡人」後編

キーンコーンカーンコーン…

僕の名前は、夜四季。今は、昼休み何だけど…。

「なあ夜四季。テストどうだったのよ。ま、今回こそは私の勝ちだと思っけどな。」

今話しかけてきたのは、佐伯。幼なじみで、昔から何かと突っかかってくる。

「まあまあのお出来、だったと思うよ。」

「お前のまあまあは、全教科大体90点位だろう。また負けか。」

「合計487点。そう言う佐伯は、前回のテストに比べたら、点上がってんじゃない。」

「せっかく、ひと月前から勉強したのに。あんたは、化け物か！」

（ひと月前って、まだテスト範囲が出てなかったような…。いつも
の事だけど、努力する事に関しては天才的だな。）

「いい加減諦めたら。テストも後一回しか無いしさ。」

取りあえず、諦めるように促してみる。

「諦めるもんか。まだ最後のチャンスが残ってる。次こそは勝つ、そして勝ち逃げしてやる。」

「そう簡単には勝たせないよ。」

「臨むところだ。」

（ 臨まれてもな…。 ）

十七話「天才と凡人」後編（後書き）

誤字・脱字等ありましたら感想に書いてくれると有り難いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8254r/>

十七話「天才と凡人」

2011年11月16日21時36分発行